身体的拘束 を 最小化 するための 当院の取り組み

当院は、患者さんの尊厳および人権を尊重し、
身体的拘束の最小化に取り組んでいます。

基本方針と具体的な取組

患者さんの尊厳を守るため、身体的拘束を原則行いません

当院では、患者さんの自由と尊厳を最優先に考え、安易な拘束を行わない方針を掲げています。



身体的拘束最小化チームが解除に向けた代替策を検討します



寄り添う「ケア」の実践

常に一人ひとりに寄り添った看護を実践し、安全な療養環境を整えます。



十分な説明を行い、ご本人・ご家族の意向を尊重します

やむを得ない場合のリスクを丁寧にご説明し、意向を十分に聴取した上で対応します。



実施状況の公開と目標

透明性の高い情報公開と目標達成に向けた管理



令和8年度 第2四半期 実施割合 （7～9月）	0%
当院の目標値	3.0%以下

実施状況を数値化して公開し、
目標値である3.0%以下の維持に努めます。

やむを得ず身体的拘束を行う場合には、
最小限の方法で、必要最小限の時間に限定します。

長崎労災病院 病院長